

第46回長崎県下消防職員意見発表会が開催されました

令和5年4月6日（木）松浦市文化会館で、第46回長崎県下消防職員意見発表会が開催されました。

この意見発表会は、消防職員が日々の勤務を通じて、業務に対する提言や取り組むべき課題等について自由に発表し、消防業務に関する諸問題の解決や、意識の高揚を図ることを目的として毎年開催されています。県内10消防本部から15名の職員がそれぞれの意見を発表しました。松浦市消防本部からは代表で西副士長と富森消防士が出席。選考審査の結果、西副士長が最優秀賞に選出されました。

西副士長は、自身の救急出動時の経験をきっかけに、会話について調べ、「聞く力」に着目。相手に寄り添った「聞く力」が、とある電話対応で効果を発揮し、人に安心を与え、やりがいを感じた。相手に共感し寄り添うことで安心を提供し、思いやりのある消防人になりたいと発表しました。

西副士長は、4月28日に熊本県八代市で開催される、九州地区消防職員意見発表会に長崎県代表として出場します。

